

## M. S. 社会システム学科・2 年次生

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

私は、祖母が韓国人で幼いころから韓国に興味を持っていました。高校生の頃、韓国へ正規留学をするか日本の大学へ進学をして交換留学をするかをとても悩んでいました。その結果、日本で就職したいため正規留学をあきらめて交換留学を目標にしたのが協定留学のきっかけです。

#### ② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

私はもともと韓国語が出来たため、多くは勉強しませんでした。TOPIK の模擬試験用の参考書を購入し、直前に勉強しました。また、分からないところは韓国人の友達に聞きました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

ビザの申請などはできるだけ早く終わらせるようにしました。

また、ソウル女子大学は出発までに受講科目を決めてメールで送る必要があったため、どういう授業なのか分からずに申請したことを覚えています。

#### ④ 現地到着後

仁川空港に友達が迎えに来てくれたので、一緒に大学へ向かいました。入寮時間が 15 時まででしたが、寮に 17 時くらいに着きそうだったので少し遅れることを電話し、17 時頃に入寮しました。

数日後、オリエンテーションがあり、そこで日本人の友達を作りました。

外国人登録証の申請は、学校が紹介してくださったアプリで書類を提出して申請しました。申請後 1 ヶ月ほどで学校に届き、受け取りました。

保険の免除は、外国人登録証を受け取った後に外国人保険センターで準備した書類を提出して申請します。申請から受理まではすぐに終わりました。

#### ⑤ 語学研修期間

受講しませんでした。無料の韓国語セミナーが 1 ヶ月ほど 20 時からありましたが、私は予定が合わず受講していません。

#### ⑥ 正規科目履修期間

##### ◆ 大学の施設・環境について

とにかく大学が広く教室も多いため、最初は慣れるまですごく大変でした。校内にコンビニが

3 軒、カフェも 3 軒、郵便局、銀行などがあり便利でした。最寄り駅から学校までは少し遠いですが、私は散歩ができてちょうど良かったです。バス停も近くに 2 か所あり便利でした。しかし、有名なホンデや明洞などへ行くには 1 時間以上かかります。

#### ◆ 履修科目

私は、ゼミに読み替えられそうな授業や、その他の授業に読み替えられそうな科目を中心に受講しました。

#### ◆ 授業、レポート、定期試験

##### 1 学期

##### ・ 上級韓国語プレゼンテーション (Korean Presentation)

TOPIK4～5 級レベルの外国人学部生向けに開講された韓国語の上級会話・発表科目でした。教科書を使って語彙や表現を学びながら、インタビューやグループ活動を通して、さまざまなテーマについて韓国語で話す練習を行います。

授業では毎週教室内でのスピーキング活動があり、その内容が実習点として評価に反映されるため、積極的な参加が求められます。中盤以降は進路・就職、事件事故、教育制度など、やや難易度の高いテーマも扱い、面接形式の練習や発表活動も行いました。

評価は出席、授業内実習、中間・期末の筆記試験、そしてグループで行う発表によって構成されています。特に出席の比重が高く、欠席や遅刻には減点があるため注意が必要です。発表には原稿作成からスライド作成、実際の発表までが含まれており、公式な場で韓国語プレゼンテーションを行う力を総合的に伸ばせる授業だと思います。

##### ・ AI と持続可能な未来 (Sustainable Future by Drawing with AI)

地球の持続可能性や SDGs をテーマに、AI ツールやデータ分析を活用しながら、未来社会について考える授業でした。オンラインとオフラインを組み合わせたブレンディッド型授業で、事前に動画を視聴し、授業内ではディスカッションや実習、チームプロジェクトを行います。

5 週間ほどかけてチームプロジェクトに取り組み、科学技術の発展によって生じた社会問題を取り上げ、持続可能な未来のためにできる解決策を考えました。また、個人課題としてデータ分析を行い、未来予測を行う課題もありました。

AI ツールやデータ分析ツールを実際に使うため、ノートパソコンやスマートデバイスがあると安心です。中間試験は課題提出で代替される場合があり、期末試験は対面で行われます。出席や遅刻に関しては、減点基準が細かく決まっているためしっかり管理する必要がありますが、授業の流れや評価方法は事前に説明されるので、それに沿って取り組めば評価は取りやすい授業だと思います。

### ・ 愛の人文学 (Humanities of Love)

映画を題材に、人生や愛の意味について考えながら、映像を読み解く力（ビジュアル・リテラシー）を高める授業でした。毎回、教科書『愛の人文学』の内容とあわせて映画を鑑賞し、その中で描かれる愛の形を、文学・哲学・心理学・社会学など人文学的な視点から考察します。

授業では、恋愛や情熱、記憶、デジタル時代の愛、ジェンダーなど、さまざまなテーマを扱い、『ビフォア・サンライズ』『(500) 日のサマー』『恋する惑星』（原題：重慶森林）などの映画を通して議論を行いました。単に映画を観るだけでなく、愛とは何か、人との関係性とは何かを深く考える内容になっています。

中間試験と期末試験があり、講義内容や映画の理解をもとに考察する力が求められます。人文学や映画が好きな人、愛というテーマについてじっくり考えてみたい人に向いている授業だと思います。

### ・ 韓流と K-POP 文化 (Korean Popular Culture and Korean Wave)

韓国のポップカルチャー（K-POP、ドラマ、映画など）がどのように誕生し、国際的に広まってきたのかを学ぶ授業でした。韓流の肯定的・否定的側面の両方を取り上げながら、資本主義や消費文化、ジェンダー、セクシュアリティといった視点から、韓国社会や現代性との関係を考察します。

授業はソクラテス式対話を中心に進められ、学生同士のディスカッションや意見交換が多いのが特徴です。K-POP や韓国映画、ドラマ、ミュージックビデオを題材に、その象徴性やメッセージ性を分析し、自分の考えを英語で発言する機会が多くありました。

評価を上げるためには、事前にリーディング課題を読み、積極的に発言する姿勢が重要になります。中間課題と期末試験があり、受け身ではなく主体的に参加できる学生に向いている、ディスカッション中心の授業だと思います。

### ・ 性格心理学 (Personality Psychology)

人間の性格をテーマに、構造的・動的・発達の視点から自分自身や他者を理解することを目的とした心理学の授業でした。フロイトやユング、アドラー、マズロー、ロジャーズなど、さまざまな性格理論を取り上げ、理論だけでなく研究結果や実生活とのつながりについても学びます。授業は講義だけでなく、少人数でのディスカッションや全体討論が多く、学生同士で意見を交換しながら理解を深めていく形式でした。理論を日常生活や現実の人物に当てはめて考える機会が多く、批判的思考力を養える点が特徴です。

評価は中間・期末試験に加え、5～6 人のグループで行うプレゼンテーションがあります。有名な人や映画の登場人物の性格を、授業で学んだ理論を用いて分析し発表する内容で、理論の理解と応用力の両方が求められます。心理学の基礎知識があると取り組みやすく、考えて発言すること

が好きな人に向いている授業だと思います。

## 2 学期

### ・ デジタルメディア・リテラシーと文化 (Digital Literacy and Culture)

デジタルメディアが社会や日常生活に与える影響を学び、批判的に読み解き、適切に活用する力（デジタル・リテラシー）を身につけることを目的とした授業でした。オンライン動画と対面授業を組み合わせたフリップド・ラーニング形式で、授業内ではディスカッションや実習活動が多く行われます。

授業では、ソーシャルメディアの影響、フェイクニュースや広告、ニュース・YouTube リテラシー、AI の活用、デジタル市民性など、身近で実践的なテーマを扱いました。特に、ノーションや生成系 AI などのツールを使った実習や、ソーシャルラーニングツールの分析、動画コンテンツ制作など、アウトプット中心の課題が多いのが特徴です。

評価は課題、授業への参加度、出席、期末試験で構成されており、授業内での発言や活動への参加が重視されます。自ら考えて発信する姿勢が求められるため、受け身よりも積極的に取り組める人に向いている授業だと思います。

### ・ 結婚と家族 (Marriage and Family)

この授業は、女性学の視点から結婚や家族を「個人的な問題」ではなく「社会構造の問題」として捉え直す内容でした。近代・後期近代社会において家族がどのように形成され、韓国社会の家族主義や道具的家族観が、階級再生産や劣等感、トラウマとどのように結びついてきたのかを学びます。

父親・母親の社会文化的構成、入養（養子縁組）の国際政治経済、家族内トラウマ、家族と正義（justice）、再生産の政治経済学など幅広いテーマを扱い、家族を「愛だけで成り立つ空間」ではなく、正義が適用されるべき領域として考察します。

課題では、親へのインタビューや自分の家族を振り返るレポート（2400 字）を通じて、個人的経験を社会的文脈で読み解く力が求められます。

### ・ 発達心理学 (Developmental Psychology)

人間の成長・発達を、生涯発達の視点から学ぶ心理学の授業でした。乳児期から老年期まで、認知・社会性・情緒・言語・道徳・身体的発達など、さまざまな側面について理論と研究をもとに理解を深めていきます。

授業では、発達心理学の基本概念や研究方法を学んだうえで、各発達段階の代表的な理論を体系的に扱います。特に成人前期については重点的に取り上げ、特徴や発達課題、危機について具体的に考え、理論を実生活にどのように応用できるかを学びました。

課題として、関心のある発達段階の対象者（または養育者）へのインタビューを行い、その内容を分析したレポートを提出します。中間・期末試験もあり、理論理解と実践的な考察の両方が求められる授業です。心理学の基礎知識があると理解しやすく、人の成長や人生に関心のある人に向いていると思います。

### ・ デジタル時代の英語コミュニケーション (Communication and Culture in a Digital 21st Century)

デジタル化やパンデミック以降の社会変化を背景に、オンライン空間におけるコミュニケーションや文化の変化をテーマに学ぶ、英語による内容重視（content-based）の授業でした。上級英会話と英作文の要素を組み合わせ、英語で考え、話し、書く力を総合的に伸ばすことを目的としています。

授業では、ソーシャルメディア、注意力と ADHD、監視資本主義、AI や ChatGPT、メタバース、デジタル時代の恋愛など、現代的で抽象度の高いテーマを扱い、映画やテキストをもとにディスカッションや意見交換を行いました。自分の考えを英語で論理的に表現することが求められます。中間・期末試験があり、課題は授業内容に応じて出されます。受け身よりも、積極的に発言し議論に参加する姿勢が評価されるため、社会問題やデジタル文化に関心があり、英語で深い議論してみたい人に向いている授業だと思います。

### ・ 生活に活かす人工知能 (AI) (Artificial Intelligence Basic)

人工知能の基礎を、理論だけでなく実習を通して学ぶ入門向けの授業でした。AI の概念や歴史から始まり、生成系 AI（ChatGPT）の活用、ビッグデータ、アルゴリズム、AI 倫理など、生活に身近なテーマを中心に理解を深めます。

授業では、Google Colab を使った ChatGPT 活用実習や、Excel による公共データ分析、Teachable Machine、Orange3 を用いた機械学習など、手を動かす内容が多いのが特徴です。後半ではマイクロビットや RC カーを使った簡単な自動運転実習も行い、AI の仕組みを体験的に学びました。評価は中間・期末の筆記試験が中心で、出席や遅刻には明確な減点規定があります。プログラミング未経験でも取り組みやすく、AI を実生活や将来にどう活かせるかを知りたい人に向いている授業だと思います。

### ⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特に参加していません。

### ⑧ 現地で住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

私たちの寮は、国際生活館というところでした。入寮日にソウル女子へ行くと、ルームメイトが

決まっていた（1 学期）。申請もできます！隣のシャロムハウスという韓国人の学生だけが居る寮には、セブンイレブンがあり、よくそこに夜食のカップラーメンを買いに行きました！品揃えは特に良くないですが、少し食べたい時 に大活躍しました。私たちの寮は、よく電子レンジが故障したりトイレが詰まったりして少し不便な時がありました。正規科目履修期間には、韓国人の方と一緒に勉強したり日本人の学生と図書館で試験勉強したりして過ごしました。

## ⑨ 長期休暇の過ごし方

長期休暇中、私は夏休みに用事があり、日本に滞在していました。

## ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

留学中にリモートで参加出来る説明会にたくさん参加して情報収集しました。インターンシップに応募出来るところにも応募しました。

## Ⅱ. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

夏に友達と済州島旅行をしたことです。済州島でしか味わえない空気感と美味しいものを食べたことが思い出に残っています。

また、韓国でライブをたくさん見に行ったり、フェスに行ったりしたことも、韓国に住んでいるからこそ出来ることだったので良かったです。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

祖母が韓国にいるため、特に辛いことはありませんでした。秋夕の際も、ほかの留学生が体験できないことを親戚と共にできて、寂しくはありませんでした。

ただ、日本食、とくに寿司がとても食べたくなりました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

文化の違いなどで驚いたことは特にありません。

一つ挙げるとすれば、バスなどのスピードが速すぎることで、たまに、乗っているときに転びそうになりました。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、寮が学校の敷地内にあり公共施設やカフェなども多かったことです。

悪かった点は、最寄り駅から学校が遠いことや、寮のトイレやシャワー室が時々汚くなっていた

ことです。

## ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは持参しました。持っている方は、持参することをお勧めします。

お茶漬け、ふりかけなどを持っていくと小腹がすいたときに大活躍しました。

ナプキン日本のものの方が韓国のものより性能が良いので持っていくことをお勧めします。

## ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

私は、元々できなかった訳ではないので韓国でも猛勉強などはしていませんが、韓国語で試験や授業を受けたので専門的な単語が身につきました。

対話をする力や、別の言語でコミュニケーションをとる力などが備わったと思います。

あとは、何事にも挑戦を恐れずに行動できるようになりました。失敗や後悔を恐れて一生懸命でできなかったことが、しないで後悔するよりもして後悔した方がいいという考え方に変わりました。私は考えるよりも先に行動する性格でしたが、留学に行ってからさらに行動派になりました。

## ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

人生は一度きりなので、挑戦したいことには一生懸命努力して取り組んでほしいです。できないことはないと思うので、挑戦すればどんなことでも成し遂げることができると思います。留学も、意思があればどんどん挑戦すると良いと思います。

## IV. 将来の目標

### ① 今後の進路、将来の目標

私は CA になることが夢なので、日系や大韓航空を目標にして日々努力しています。

他には、外資系の企業や商社なども応募している状況です。

新たな目標に向かって努力したいと思っています。

V. 写真



友達と済州島旅行に行った時の  
写真



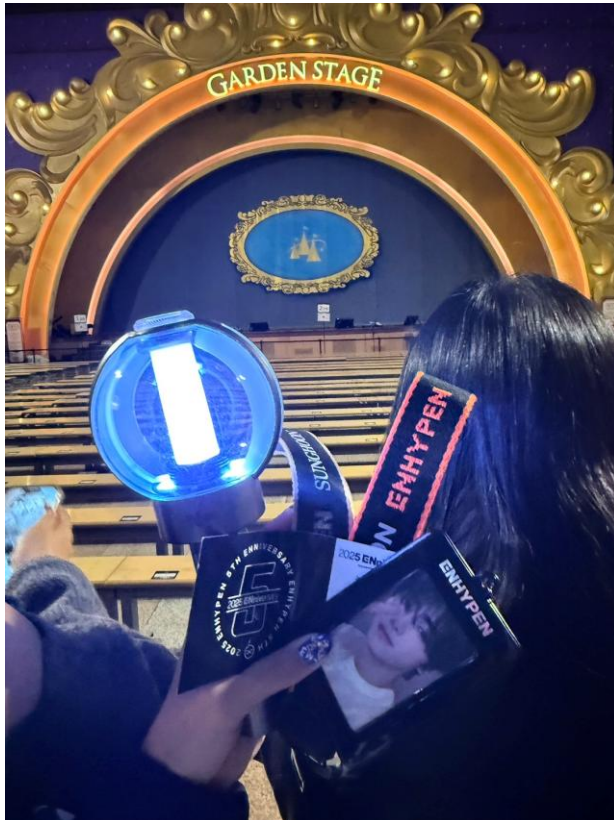
韓国人の友達とソンスで遊んだ写真



友達と無料の HIPHOP フェスティバルに行  
った時の写真



友達と慶州へ行った時の写真



2000 人しか当たらないアイドルのイベント  
に行ったときの写真